

令和元年度 学校自己評価並びに学校関係者評価

加東市立鴨川小学校

1 学校教育目標 **挑み続ける たくましい 鴨川っ子の育成**

2 経営の重点	① 地域資源を活かしたふるさと意識の醸成	② 確かな学力の育成	③ 主体的に学び合う授業
	④ 交流学习の推進	⑤ 特別活動の活性化	⑥ 表現力の伸長と健やかな体と豊かな心の育成
	⑦ 環境の充実と安心安全な学校	⑧ 家庭や地域と連携した共育作戦の推進	

3 教職員自己評価結果及び学校関係者評価結果(評価基準 よくできている 4 できている 3 あまりできていない 2 できていない 1)

経営の重点	具体的方策	自己評価	改善方策	関係者評価	学校自己評価結果及び改善方策についての評価
① 地域資源を活かしたふるさと意識の醸成	・ふるさと学習等の体験活動を実施する。 ・ふるさと意識(愛着・誇り)を育て、地域に発信する手立てを工夫する。 ・地域支援者や地域素材の情報収集に努める。	3.1	○学校から保護者や地域の方々に学習内容を発信することで、学校のことをよく知っていただくとともに、学校が学習に関する情報を集めやすくなり、更に協力を得やすくなりしていく。	3.5	○地域のことを学ぼうとしている姿勢は、子どもたちからも伝わってきます。地域活性振興会や老人クラブさらに婦人会などと連携をとることも良いと思います。
② 確かな学力の育成	・個に応じたきめ細かな指導を行う。 ・児童が思考、判断、表現する授業づくりに努める。	2.9	○タブレットを用いたドリル学習を行うことで、子ども一人一人にあった学習を進めていく。 ○行事の精選を積極的に行うことで、授業時間を確保し、授業の充実を図るとともに、子どもたちにつけたい力を的確に付けていく。	3.0	○学校の学習に加えて、家での予習・復習を習慣づけることが必要だと思えます。 ○子どもの個性を引き出すことを進めている。環境も整っていると感じます。
③ 主体的に学び合う授業の推進	話し合う活動を設け、話し合いの質的向上を図る。 ・学び合いを組織した高まり合う学習を努める。	2.5	○授業研究で討議の柱を1本化し、子どもたちにつけていく力を絞ることにより、より深く研究を進めるとともに、子どもたちの思考の積み上げを目指す。	3.2	○鴨川の子どもたちは、自分の考えを自分の言葉で表現できているのが良い。 ○友だちのノートをプロジェクターを使って映し、全員で確認する活動は良いと思います。気づく力が養われると思えます。
④ 交流学习の推進	・交流体験や交流学习を積極的に進める。 ・人と積極的に関わり、互いに認め合う態度を育てる。	3.3	○更に充実した活動となるように、交流の時期を再考する。 ○自然学校については、来年度は四校(福田小・米田小・三草小・鴨川小)の担当校となる。職員や指導員との共通理解を綿密に行い、共通理解して実施する。	3.5	○幅広い人との交流体験は、人を理解することに繋がると思える。 ○交流学习は、子どもたちにとって良い刺激になると思うので、ぜひ続けていってほしい。
⑤ 特別活動の活性化	・生活班活動の活性化を図り、より良い人間関係を育てる態度を育てる。 ・ふるさと太鼓を通して、集団の一人(仲間意識)を養う。	3.5	○更に子どもたちの主体的な活動の場となるように、子どもたちが教え合う活動や支え合う活動を意識して設定していく。	3.8	○低学年から高学年まで、班活動はもちろんのこと遊びを通じて、特に高学年になるにつれ、責任感と主体性を感じることが出来ます。 ○上級生が手本となり、下級生を引っ張っている姿は立派である。
⑥ 表現力の伸長と健やかな体と豊かな心の育成	・表現活動(音声・身体等)の充実に向けた場づくりに努める。 ・食育・健康教育の充実に向けた取り組みを進める。	2.8	○新学習指導要領が全面実施される。そこで、活動については、子どもたちにとって教育的に有意義なことは継続し、それ以外は授業時数確保のために削減していくなど工夫を行う。	3.3	○体育祭や発表会での表現活動を見るたびに素晴らしい成長を感じ、感動を与えてもらっています。 ○小中一貫校になると、ふるさと太鼓がなくなるのかどうか不安である。
⑦ 環境の充実と安心・安全な学校づくり	・計画的な掲示に努める。 ・自分の身は自分で守る取り組みを進める。	2.8	○掲示物により、様々な教育活動の振り返りをした。今後も学習の足跡となるように掲示を続けていく。 ○不審者対応訓練では、子どもたちの自主的な行動を警察の方に褒めていただいた。引き続き自分の身の守り方を指導していく。	3.4	○情報が氾濫している世の中において、正しく判断する力を身に付けていくことを望みます。 ○今後も環境整備や防犯意識を高める努力を継続していただけるようお願いいたします。
⑧ 家庭や地域と連携した共育作戦の推進	・よりよい生活習慣と規範行動を共感する。 ・家庭学習(自主学習も含む)の定着と読書活動を推進する。	3.2	○来年度も、年2回(5月・12月)の共育作戦(学校懇談会)を行い、自立する子どもについて学校と家庭との共通理解を図りながら進めていく。 ○通信やホームページで情報提供を行い、風通しのいい学校を継続していく。	3.6	○学校と家庭の連絡を、多くできたらいいと思います。 ○鴨川小学校の様子を鴨川地区全戸に知ってもらおうと、努力されているのが素晴らしい。

4 次年度に向けての改善方策

<p>○子どもの社会性(ソーシャルスキル)の向上に向けた職員研修を行う。</p> <p>○社地域の小中一貫に向けて、小学校5校のつながりを図っていくために、「家庭学習の強化」と「学習規律の共同実践化」を進める。</p> <p>○子どもの「自立・自律」に向けた保護者の意識を更に高める取組を行う。</p>
